

2016年8月5日

プレスリリース

千葉県立現代産業科学館

革新的なプラネタリウム投影システムで体験する「宇宙(そら)」の旅

～12K MEGASTAR-FUSION が魅せる地球とかけ離れた世界～

千葉県立現代産業科学館（所在地：千葉縣市川市 館長：平賀洋一）において、プラネタリウム上映会「宇宙(そら)へ 12K MEGASTAR-FUSION」が8月12日(金)から期間限定で開催されます。プラネタリウム・クリエイター大平貴之氏が率いる有限会社大平技研が製作した革新的なプラネタリウム投影システム

「MEGASTAR-FUSION」。光学式の MEGASTAR-II A 機と 17 台のデジタルプロジェクターから成る 12K*プロジェクションシステムで、直径 23m のドームスクリーンに、究極の星空と超高解像度映像が映し出されます。

(動画：<http://youtu.be/L7EJp8enpn4>)

上映番組は、「星のある風景～宇宙(そら)～」と「七タランデブー～FUSION バージョン～」の 2 番組。最新作「星のある風景～宇宙(そら)～」は、美しい街並みや大自然の景色と星空の共演を再現して好評を博した MEGASTAR-FUSION オリジナル番組「星のある風景」のシリーズ第 3 弾であり、今回は地球を離れて宇宙へ向かいます。地球とは全くかけ離れた景色が広がる太陽系惑星の星空が、イベント初となる MEGASTAR-II A を使った FUSION システムの超高解像度で映し出されます。まだ誰も見たことが無い星空を求めて、宇宙を旅する感動体験ができます。「七タランデブー～FUSION バージョン～」は、少年の宇宙飛行への憧れと挑戦を描き好評を得た本作を最新の FUSION システムでリメイク。

上映期間は 8 月 12 日(金)～8 月 31 日(水) (8/22・29 は休館) で、1 日 6 回入れ替え制 (定員各回 280 名)。8 月 14 日(日)と 8 月 21 日(日)の 2 回目と 4 回目の上映では、大平氏による上映解説会を行います。上映解説会では、プラネタリウム・クリエイターとして常に進化の歩み続ける大平氏が新たに開発した「GIGAMASK(仮称)」の一部をドームで初上映します。世界最多となる 10 億個以上の星の投影を可能にする恒星原板です。(参考：<http://www.megastar.jp/news/201603/091235.php>)

報道関係者向け内覧会は、大平氏を迎え、8月10日(水)14:00より行います。

詳しい内容については下記HPをご覧ください。

※ e-shift2 テクノロジーによる

千葉県立現代産業科学館：<http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/>

有限会社大平技研：<http://www.megastar.jp/>